

【実践発表Ⅰ 宮崎県】

「自分を守る・地域を守る」

学校安全総合支援事業

～防災教育の取組について～

宮崎県教育庁 人権同和教育課

指導主事 下東 義忠 氏



令和2年度「学校安全総合支援事業」全国成果発表会

「自分を守る・地域を守る」学校安全総合支援事業 ～防災教育の取組について～

宮崎県教育庁人権同和教育課
生徒指導・安全担当



宮崎県の現状



今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震等による津波浸水想定地域内にある全ての県立学校を推進校として指定し、「学校を中心とした地域ぐるみの防災」について地域や関係機関と連携しながら取り組んでいる。

宮崎県の取組

宮崎県教育委員会



「自分を守る・地域を守る」学校安全総合支援事業

- モデル地域：宮崎市佐土原地区（6校）
- 拠点校：宮崎県立佐土原高等学校
宮崎市立久峰中学校

次年度の
SPS認証
申請推進校



ひなたセーフティ°ーションスクール（SPS）推進事業

- モデル地域：門川町（6校）
- 拠点校：宮崎県門川高等学校
門川町立門川中学校

SPS認証を
目指す

昨年度の
学校安全総
合支援事業
拠点校



門川町
拠点校

- ・県立門川高等学校
- ・門川町立門川中学校

宮崎市佐土原地区
拠点校

- ・県立佐土原高等学校
- ・宮崎市立久峰中学校

宮崎県の取組

「自分を守る・地域を守る」学校安全総合支援事業
〈※モデル地域の取組は省略〉

○主な取組

- (1) 学校安全教育推進委員会の開催
- (2) 高校生防災・学校安全研修会の開催
- (3) 学校安全実践地域訪問
- (4) 安全教育推進リーダー研修会の開催

(1) 学校安全教育推進委員会の開催

- 年3回（7月、10月、1月）開催
- 学校アドバイザーによる指導・助言
 - ・大学名誉教授
 - ・安全専門家（NPO）
 - ・宮崎地方気象台
 - ・宮崎県警
- モデル地域の教育事務所及び教育委員会の指導主事、拠点校の担当職員が出会



(2) 高校生防災・学校安全研修会の開催

- 7月下旬に1日間の開催
 - ※ 県北・県央・県南の3会場で実施
- 各学校の代表生徒3名と担当教職員1名が参加
 - ※ 参加生徒は自校において研修成果を報告
- ☆ R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止
 - ※ 各学校に研修課題を課し、レポートを提出。レポートは県教育委員会で冊子にまとめ、各学校に配付。



昨年度の研修



昨年度の研修

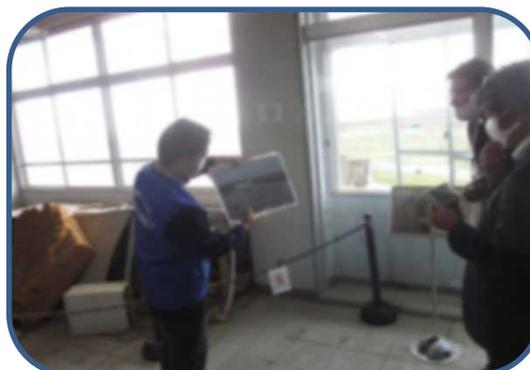
(3) 学校安全実践地域訪問

- 令和2年11月4日(水)～6日(金)に実施
- 宮城県気仙沼市、石巻市、多賀城市等を訪問
 - ・気仙沼向洋高校訪問 ・気仙沼市伝承館訪問
 - ・多賀城高校訪問 ・大川小学校訪問

☆R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により代表生徒の訪問は中止

〈補足〉

- 令和元年度は高知県と大阪府を訪問
 - ・高知県高校生津波サミット参加 ・大方高校訪問(生徒交流)
 - ・黒潮町訪問 ・大阪教育大学准教授による安全教育研修



(4) 安全教育推進リーダー研修会の開催

- 令和3年1月22日（金）に開催（年1回開催）
- 大阪教育大学 藤田大輔 教授による講義・演習
- 安全教育推進校（拠点校）の県立佐土原高等学校による実践発表
- 県教育委員会による学校安全総合支援事業の周知

〈補足〉

- 毎年5月に幼・小・中・高・特別支援学校の安全教育担当者を対象にした「学校安全指導者研修会」を開催し、モデル地域の取組を周知。（R2年度は新がコロナ感染症の影響により中止。紙面でモデル地域の取組を周知）



宮崎県の取組

ひなたセーフティプロモーションスクール(SPS)推進事業

〈※モデル地域の取組は省略〉

○主な取組

(1) S P S 認証に向けた支援

(2) 先進地視察

(3) 宮崎県版「ひなた S P S」の取組に向けた支援



こころの教育

安全教育

自分のいのち



「SOSの出し方教育」

- SOSの出し方教育推進校 (3校)
- ハンドブックの作成
- 教職員にむけた「いのち」の研修会

相手のいのち



「ピア・サポート」

- ピア・サポート推進校 (7校×3年 計21校)
- ピア・サポート研修会 (推進員の養成)

みんなのいのち



「チーム学校」

- セーフティプロモーションスクール (SPS)*認証推進校 (2校×3年 計6校)
- 学校安全コーディネーター養成

大学との連携

全推進校連絡協議会

3年後の事業効果

- ・県内すべての学校でハンドブックを活用した「こころの教育」を実施
- ・ピア・サポート推進員(3年間で90名養成)が地域の学校で「ピア・サポート研修会」を実施
- ・SPS認証校6校認定

SPS* 日本セーフティプロモーションスクール協議会が認証する学校安全コーディネーターを軸に地域・関係機関が連携した学校安全の取組を行っている学校

(1) S P S 認証に向けた支援

- 拠点校（S P S 認証申請校）の担当教職員 2 名が
下記の研修を受講
 - ・学校安全主任講習会（オンライン受講）
 - ・学校安全コーディネーター養成研修（オンライン受講）
- 大阪教育大学 藤田大輔 教授による実地指導・審査

令和3年2月8日 S P S 認証式（予定）

(2) 先進地視察

- 令和2年12月21日～22日に高知県を訪問する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。
- ※SPS認証校及び認証申請校の小学校2校の訪問を計画していた。

(3) 宮崎県版「ひなたSPS」の取組に向けた支援

- 推進校(拠点校)は、学校安全委員会を設置し、市町村、児童相談所等と連携し、学校安全教育を推進する。
- 取組に「SOS出し方教育」と「ピア・サポート」を取り入れ、「いのちを守る」教育を実践する。

成果

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、計画していた取組の中止や変更があったが、学校安全アドバイザー等の指導・助言により、概ね所期の目的を達成できた。
- 学校安全総合支援事業に取り組んだモデル地域が、次のステップとしてS P S 認証を目指した取組を実践でき、これまで以上に地域や関係機関等との連携が図れ、安全教育の充実につなげることができた。

今後の展望

- 子どもたちの安全に関する意識の向上と自分の命を守る力の醸成を目指し、学校のみならず、地域や関係機関等の地域資源を活用した安全教育の実践を図る。
- S P S 認証に向けた取組を今後も継続するとともに全国のS P S 認証校や安全教育先進校等との交流を図る。